



球春到来

写真はドジャース
大谷選手が子どもた
ちに贈ったグローブ

春本番。いよいよプロ野球の新シーズンが開幕し、東志賀学区ではジュニアクラブのキッズが元気に白球を追いかけています。学校には大谷翔平選手が贈ったグローブが到着し、子どもたちは大喜び。編集部は中日ドラゴンズOBのレジェンド選手、ケン・モッカさんからも学区ジュニアスポーツの子どもたちへの熱いエールをもらいました。



才能より努力。基本が大切。ハート熱く！

40年余前のお話です。1982年、中日ドラゴンズはセ・リーグで優勝しました。チームを引っ張ったのが、アメリカ人のモッカさん(73)です。3番サードで打率3・11、23本塁打。その後、大谷選手が活躍するメジャーリーグの監督としても優勝を果たし、今は、ふるさとのアメリカで若者に野球を教えています。「ハイ！ 東志賀の子どもたち、ベースボールを楽しんでいるかい？」

ドラV戦士・モッカさん

私も幼いころは友達と暗くなるまで野球ばかりしていた。大の負けず嫌いで、誰よりも練習したね」「どれだけすごい才能があっても、最後まで頑張れない子は良い選手にはなれない。上手な子も、そうでない子も努力を続けてくれ」「メジャーの監督時代もトスバッティングとノックの練習を大事にした。コーチから教わる基本が大切だよ。ジュニアのみんな、熱いハートで勝利へ突き進め！」



鈴木編集長に子どもへのメッセージを託すモッカさん(左)=米国で

ソフト野球 児童を募集

東志賀ジュニアクラブは児童を募集中。問い合わせはチームHPの問い合わせコーナーから。



仏教保育絵画展 園児3人入選

愛知県仏教保育協会が主催する第56回仏教保育絵画展で、金城幼稚園に通う東志賀学区の3人が入選し、2月に表彰されました。

ゆきちゃん・あきと君・ゆきのちゃん

見事、賞に選ばれたのは末田ゆきちゃん、浅野あきと君、谷岡ゆきのちゃんの3人です。絵のタイトルは「じょうどうえ」。お釈迦さまが菩提樹の下で悟りを開き、仏陀になったお話を聞いて描いた絵です。それぞれがお話の中で印象に残った場面を丁寧に描いています。

上手に描けたよ！

今月の題字

4月号のタイトルのイラストは東志賀小4年の末田ゆきちゃん(つむぎ)ちゃんが満開の桜を色鮮やかに描いてくれました。つむぎちゃんは「仏教保育絵画展入選」の記事で紹介した末田ゆきちゃんのお姉さん。姉妹そろって、かわいく上手な絵で紙面を彩ってくれました。題字はキッズ、大人問わず広く募集しています。

このヒーローズの4月号が配られる頃には、3人も東志賀小学校のピカピカの新1年生になっています。これから小学校の図工で描く絵が楽しみですね！

(文章・東志賀学区のママ)



写真は上から、ゆきちゃん、あきと君、ゆきのちゃんです。



地元情報多彩 学区HP開設

東志賀学区のイベントや地元で活動する団体などの情報が満載のHPが開設されました！ネット上で「東志賀学区」と「Jimdo」の2つのワードを入力して検索してください。2次元コードからもページを開けます。学区の念願だったHPは有志のメンバーが苦勞して作成し、更新してきています。その舞台裏は今後の紙面で詳細します。



電子版新聞 ここから！

過去の「東志賀ヒーローズ」と、ボランティア通信「ささえあいたよ」を読むことができます。



学区ふれあいグラウンドゴルフ 上岡清子さん総合V



写真④は入賞者 ⑤は体育委員

第27回 体育委員が運営に力

通学路 見守る人がいてくれる

学区の交差点では朝と夕方、大勢のボランティアが黄色の上着を着て子どもたちを見守っています。「大切な子どもが交通事故にあわず、安全に元気に学校へと通えるように」。そんな心意気で活動してくれています。

新入生も安全に登校

3月には東志賀小学校で交通安全感謝の会が開かれ、交通指導員やスクールポリス、有志の住民に感謝の花束が贈られました。通学路でボランティアの人たちと出会ったら、「おはようございます」と元気にあいさつをしましょう！



3月に開催され、54人が出場し、上岡清子さんが総合優勝。男性は優勝・永井秋雄さん、2位・岡崎邦雄さん、3位・西尾栄蔵さん。女性の2位は河合弘子さん、3位は箕浦純子さんでした。おめでとうございます！

野鳥の調査と保護ライフワーク

安田さん カラスの子育てパチリ



長年、野鳥の観察と保護に取り組む学区の安田耕治さんが、東志賀公園で子育てをしているカラスの写真を届けてくれました。住民の憩いの場の公園では毎年春、ホシボソガラが巣を作るそうです。右側は卵を大事に抱えています。

ている親鳥の写真。都会でたくましく生きる様子が伝わってきます。昨年度まで学区内の町内会長を務めた安田さんは、野鳥をはじめとした環境調査が本職。日本野鳥の会愛知県支部などでも活動されています。

「親鳥が注意深く周囲を観察し、行動を変える様子を見ると、『よく考えているなあ』と感心します」と安田さん。ヒナ鳥が無事、巣立った瞬間に喜びを感じるそうです。編集部はこれからも、学区で元気に暮らす野鳥たちの心とむす話題をお待ちしています！

アメリカ力編集室便り



編集長が暮らすワシントンには2月から桜が咲き始め、観光客でにぎわいました。実はワシントン名物の桜は日本が由来。1912年、「平和と親善(友達)の象徴に」と、日本が贈りました。写真後方はワシントン・モニュメント(記念塔)です。高さ169メートル。この塔がどこからでもよく見えるように、街のビルは厳しく高さを制限されています。(鈴木龍司)

街のニュース&題字募集中です！

■電話＝山崎学区長
090(1277)3131
■メール＝天野さん、神藤さん
heroeshensyuubu@gmail.com